発行 社団法人 日本ダストコントロール協会 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル9階
TEL03(6802)8691 FAX.03(6802)8692発行人 山村 輝治 協会HP <http://www.dust-control.or.jp/>
編集人 高橋 一夫 E-mail info@dust-control.or.jp

仙台・名古屋・福岡で191名が受講
講習会の修了率99.5%

ダストコントロール業務従事者 指導監督者講習会

第27期事業計画の大きな柱となっている、業務従事者指導監督者講習会が、去る2月26日に仙台、27日に名古屋、3月6日に福岡でそれぞれ実施され、191名が受講し、190名が講習会終了後の試験に臨み、受験者全員が合格した。

第2回目の実施となった業務従事者指導監督者講習会。ダスコン業務従事者の資質の向上を図り、もって顧客に対し、ダスコン製品の安全、安心を提供することを目的に、当協会が実施する業界初の資格制度とし

て位置付けられ、ダスコンの基礎知識、公衆衛生、環境、運転業務、訪問販売業務などの項目について、それぞれの分野で専門の講師による講習が行われた後、筆記試験が行われた。

仙台会場では東北地域支部会などから51名が受講。名古屋会場は東海及び北陸、甲信越地域支部会から76名が受講、福岡は九州地域支部会から64名が受講するなど、大勢の受講となった。それぞれの会場には仙台は高橋専務理事、名古屋は白井常務理事、九州は平田常務理事が講習会に先立って挨拶した。

191名の受講者中、190名が受験し全員が合格。1名が棄権したため、終了率は99.5%となった。合格者は2面に発表している。

合格者には「ダスコン業務従事者指導監督者講習会修了証書」並びに「訪問販売員教育登録証書」の資格証が授与される。



仙台会場で挨拶する高橋専務理事



名古屋会場で挨拶する白井常務理事



福岡会場で挨拶する平田常務理事



仙台会場



名古屋会場



福岡会場

ダストコントロール業務従事者指導監督者講習会合格者



仙 台	区分	氏名
	東北地域支部会	梅本 昌宏
	東北地域支部会	川俣 敏浩
	東北地域支部会	梶谷 英男
	東北地域支部会	山崎 伸浩
	東北地域支部会	岡井 俊一郎
	東北地域支部会	大谷 学

東北地域支部会	久保島 利之	東北地域支部会	佐々木 和司
東北地域支部会	佐藤 友紀	東北地域支部会	猪刈 幸司
東北地域支部会	高橋 由紀子	東北地域支部会	千葉 隆弘
東北地域支部会	瀬野 秀樹	東北地域支部会	山田 覚
東北地域支部会	中山 生哉	東北地域支部会	長倉 裕樹
東北地域支部会	遠藤 雄一	東北地域支部会	長谷川 里美
東北地域支部会	扇 孝博	東北地域支部会	岡田 久美子
東北地域支部会	関 幸治	東北地域支部会	丸山 晋
東北地域支部会	鈴木 俊之	東北地域支部会	鈴木 敦夫
東北地域支部会	鈴木 正則	東北地域支部会	菅原 隆利
東北地域支部会	佐久間 俊紀	東北地域支部会	佐藤 正之
東北地域支部会	小松 峻	東北地域支部会	原 忍
東北地域支部会	山田 直哉	東北地域支部会	篠澤 幸一
東北地域支部会	金今 淳	東北地域支部会	小松 政樹

東北地域支部会	長谷川 光重	東北地域支部会	梅津 淳一
東北地域支部会	橋内 健	東北地域支部会	齋藤 信子
東北地域支部会	遠藤 栄	東北地域支部会	鈴木 良夫
東北地域支部会	八重樫 師章	東北地域支部会	中村 和晴
東北地域支部会	鈴木 基弘	東北地域支部会	長岡 浩一
東北地域支部会	高橋 謙一	東北地域支部会	大内 拓郎
東北地域支部会	吉村 金三	東北地域支部会	砂金 誠司
東海地域支部会	橋本 秀樹	甲信越地域支部会	窪田 豪



名古屋	区分	氏名
	東海地域支部会	川島 祥司
	東海地域支部会	厚東 和宏
	東海地域支部会	神谷 彰
	東海地域支部会	榎本 和弘
	東海地域支部会	土橋 勝也
	東海地域支部会	西澤 隆志
	東海地域支部会	渡辺 秀昭
	東海地域支部会	斉藤 勝彦
	東海地域支部会	松本 博司
	東海地域支部会	栗田 英行
	東海地域支部会	亀山 雅彦
	東海地域支部会	保母 寿基
	東海地域支部会	清水 克彦

東海地域支部会	野田 雅文	東海地域支部会	伊藤 章朗
東海地域支部会	堀田 昌史	東海地域支部会	馬場 孝司
東海地域支部会	川西 健史	東海地域支部会	古澤 崇
東海地域支部会	北洞 雅丈	東海地域支部会	渡邊 徹
東海地域支部会	児玉 拓央	東海地域支部会	山田 邦博
東海地域支部会	木田 明成	東海地域支部会	瀬底 正臣
東海地域支部会	細島 啓一	東海地域支部会	佐々木 更介
東海地域支部会	森下 賢治	東海地域支部会	服部 博史
東海地域支部会	伊藤 広之	東海地域支部会	増田 早苗
東海地域支部会	仲川 順也	東海地域支部会	豊吉 寿志
東海地域支部会	三輪 真吾	東海地域支部会	溝口 佳孝
東海地域支部会	横井 秀洋	東海地域支部会	辻尾 良太
東海地域支部会	田中 憲人	東海地域支部会	神谷 吉彦
東海地域支部会	松田 昌彦	東海地域支部会	池田 邦彦
東海地域支部会	佐々木 雅信	東海地域支部会	村田 義明
東海地域支部会	清水 義行	東海地域支部会	前田 和也
東海地域支部会	鈴木 浩二	東海地域支部会	平田 泰隆
東海地域支部会	夏目 正一	東海地域支部会	吉田 正孝
東海地域支部会	大岩 伸一	東海地域支部会	宮根 佑介
東海地域支部会	内藤 勲	東海地域支部会	持永 知彦
東海地域支部会	土方 裕昭	東海地域支部会	近藤 由紀

東海地域支部会	笹倉 洋子	北陸地域支部会	奥田 幸一
東海地域支部会	隼 一男	北陸地域支部会	加藤 晋也
東海地域支部会	奥野 孝啓	北陸地域支部会	北井 守
東海地域支部会	吉田 智子	北陸地域支部会	土田 和良
東海地域支部会	熊崎 政和	北陸地域支部会	南 良和
東海地域支部会	竹中 和義	北陸地域支部会	宮袋 邦治
東海地域支部会	高橋 猛	北陸地域支部会	柚木 輝章
北陸地域支部会	奥田 幸一	北陸地域支部会	内山 裕輔
北陸地域支部会	加藤 晋也	北陸地域支部会	藤村 智博
北陸地域支部会	北井 守	北陸地域支部会	河端 邦男
北陸地域支部会	土田 和良	北陸地域支部会	車 英樹
北陸地域支部会	宮袋 邦治	甲信越地域支部会	角田 礼次
北陸地域支部会	柚木 輝章	甲信越地域支部会	當間 亮平



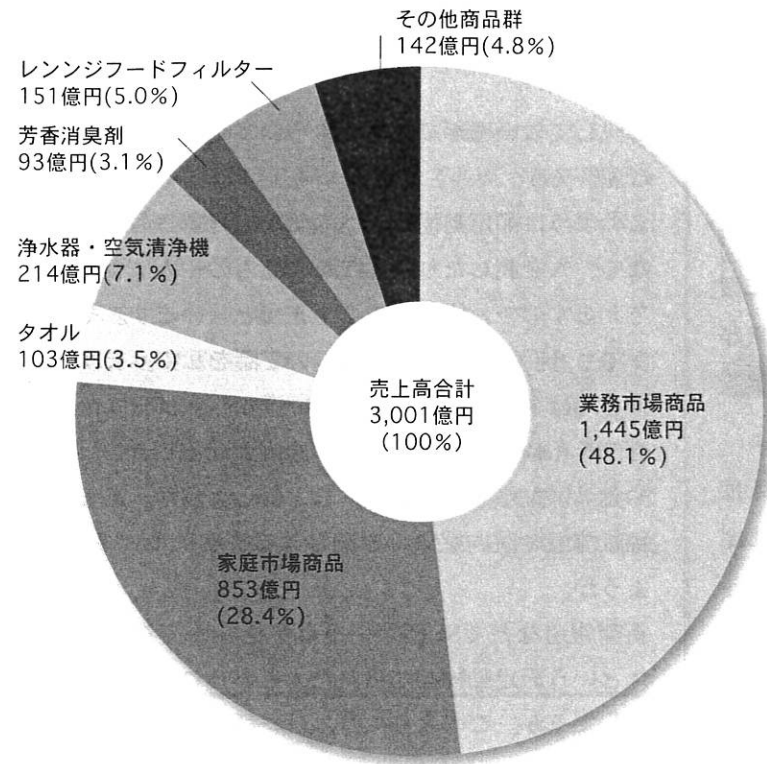
福岡	区分	氏名
	九州地域支部会	吉本 政道
	九州地域支部会	林 義博
	九州地域支部会	中筋 隆文
	九州地域支部会	緒方 肇
	九州地域支部会	福山 弘己
	九州地域支部会	植木 哲郎
	九州地域支部会	川田 吉徳
	九州地域支部会	森山 功仁孝
	九州地域支部会	藤丸 毅
	九州地域支部会	甲斐 英雄

九州地域支部会	木下 博規	九州地域支部会	永井 伸一
九州地域支部会	後藤 康彦	九州地域支部会	山下 昌吾
九州地域支部会	田中 幸二郎	九州地域支部会	上鶴 辰雄
九州地域支部会	谷山 次則	九州地域支部会	下西 功次郎
九州地域支部会	生野 守一	九州地域支部会	竹下 真太郎
九州地域支部会	梅津 信一	九州地域支部会	桑野 泰英
九州地域支部会	山中 宏吉	九州地域支部会	猿渡 彰
九州地域支部会	長谷川真一	九州地域支部会	中島 賢
九州地域支部会	大村 康信	九州地域支部会	中尾 力太
九州地域支部会	余宮 孝一	九州地域支部会	宇佐 政彦
九州地域支部会	福山 憲一	九州地域支部会	川島 寛史
九州地域支部会	西田 清信	九州地域支部会	松山 泰裕
九州地域支部会	日高 敏夫	九州地域支部会	荒牧 正朋
九州地域支部会	佐護 公一郎	九州地域支部会	時吉 治
九州地域支部会	沢山 浩己	九州地域支部会	西田 俊彦
九州地域支部会	藤原 幸男	九州地域支部会	坂田 邦弘
九州地域支部会	空 昭信	九州地域支部会	小野 繁雄
九州地域支部会	安永 眞昭	九州地域支部会	浅尾 恵介

九州地域支部会	井上 耕一	九州地域支部会	井上 耕一
九州地域支部会	玉手 秀典	九州地域支部会	玉手 秀典
九州地域支部会	江田 勇輝	九州地域支部会	江田 勇輝
九州地域支部会	佐藤 弘明	九州地域支部会	佐藤 弘明
九州地域支部会	酒井 宏明	九州地域支部会	酒井 宏明
九州地域支部会	大内 朝久	九州地域支部会	大内 朝久
九州地域支部会	永渕 吉秀	九州地域支部会	永渕 吉秀
九州地域支部会	山村 頼義	九州地域支部会	山村 頼義
九州地域支部会	井上 正巳	九州地域支部会	井上 正巳
九州地域支部会	西山 季之	九州地域支部会	西山 季之
九州地域支部会	野添 悦郎	九州地域支部会	野添 悦郎
九州地域支部会	高橋 康則	九州地域支部会	高橋 康則
九州地域支部会	中田 秀樹	九州地域支部会	中田 秀樹
九州地域支部会	前田 憲男	九州地域支部会	前田 憲男
九州地域支部会	奥山 美和	九州地域支部会	奥山 美和
九州地域支部会	坂井 梨恵	九州地域支部会	坂井 梨恵
九州地域支部会	澤田 智恵子	九州地域支部会	澤田 智恵子

第30回 ダスコン市場調査集計結果 平成24年度分

DC企業市場調査総表 (単位: 億円)

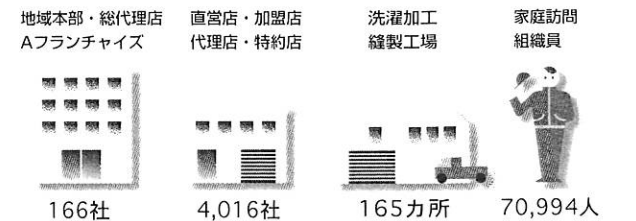


第30回(平成24年)のダスコン市場調査の結果が協会事務局より発表された。平成24年度の市場全体の総売上は3,001億円となり、昨年の3,083億円の比約82億円の落ち込みとなった。

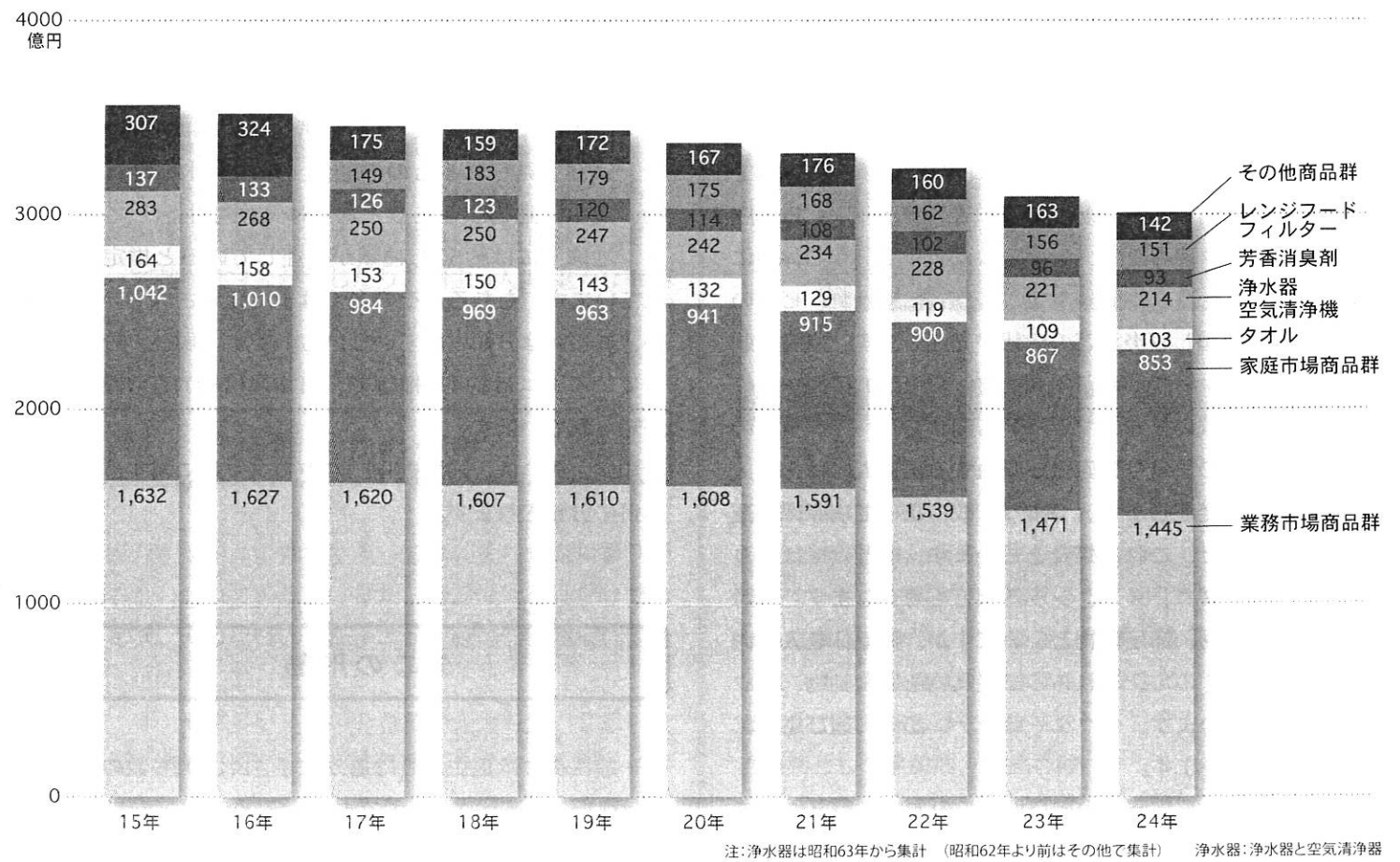
内訳としては、DCレンタルで2,298億円となり、昨年の2,338億円の比約40億円の減、また、空気清浄機等DCレンタル以外では703億円となり、昨年の745億円に比約42億円の減少となった。なを、減少に伴う主な要因として、一部製品の売上減、新規案件の減少が主な原因として挙げられる。

●調査対象規模

この調査は、当協会に在籍する1号正会員10社を対象に毎年実施しているもので、各データについては会員各社の平成24年1月から12月の間に到来した決算期における、末端市場のレンタル価格をもとに算出したものである。



DCレンタル市場規模の年次推移



注: 浄水器は昭和63年から集計 (昭和62年より前はその他で集計) 浄水器: 浄水器と空気清浄器

ダニが媒介する病気

堺市衛生研究所 所長／日本ダストコントロール協会 技術担当理事 田中 智之

桜の花が終わり、これから新緑の季節になります。暖かくなり農作業の田起こしやハイキング、山菜採集など野外での活動が一段と多くなる季節です。

おりしも、今年一月末から現在までに7人もの死亡者が出た重症熱性血小板減少症候群(SFTS)という病気が急に話題となり、メディアを賑わすようになりました。

このSFTSはマダニによって媒介されるウイルス感染症なのです。この感染症はノロウイルスとかインフルエンザウイルスのような感染形式とは全く異なっています。ダニとSFTSの関係をお話する前に、もう一度感染症のおさらいをしてみましょう。

感染症とはウイルスや細菌などの病原体が含まれている(汚染されている)食物や水、患者の咳や痰、あるいは患者と濃厚な接触などによって、微生物が直接人の体内に入り、増殖して様々な症状を呈することと言えます。しかし、「直接」というルートを取らなくても何かを介して人の体内に入れば、同じように体内で微生物が増殖し病気が発症します。たとえば、日本脳炎はコガタアカイエカという蚊によってブタの体内に存在している日本脳炎ウイルスが人に運ばれ、ヒトの体内で増殖し脳炎などの病状が発症します。皮膚を刺すことによって感染が生じますから専門用語では経皮感染と言います。マラリアも同じで、ハマダラカの唾液腺中のマラリア原虫が吸血する際に人の体内に入り増殖し発症します。つまり、蚊によって病原体が運ばれること、これを媒介と言います。蚊だけではなく、ダニ、ノミ、シラミなども媒介します。これらの小動物、節足動物といいますが、病原体を人体内に運びますので、これらの節足動物を媒介動物、ベクターと言います。ベクターはラテン語の「運び屋」に由来しています。

ダニはむしろ病原体の運び屋からみれば主役といって

も決して言い過ぎではないくらい多くの病原体の「運び屋」です。

このように節足動物は人へ病気を媒介するものだけでなく、人を刺したり咬んだりするものや人に不快感を与えますので、総称して衛生害虫と言います。そのなかでも今回は、特にダニについて話をしてみます。

皆さんはダニといえば何を思い浮かべられますか。ぜんそくやアレルギーなどの原因となるヒョウヒダニや食品に繁殖するコナダニなどでしょうか。あるいは福祉施設や院内感染の原因となる疥癬(かいせん)でしょうか。

新聞報道などでSFTSという病気を知って初めてマダニという節足動物を知られた人もおられるのではないのでしょうか。このようにダニは一種類だけではありません。

ダニの分類

ダニは昆虫ではなく、クモやザトウムシに近い動物で、家庭で見られるものの他、土の中、水の中、植物、昆虫、動物などありとあらゆる所で生活しており、地球上には約50万種類が存在していると推定されています。もちろんその多くはまだ発見されていない、あるいは分類されていないものです。現在、分かっているダニは約4万種類で、日本には約1,700種類が知られています。

分類学上ダニは、節足動物門の中のクモ綱に属するダニ目に分類されます。

ダニの形態

一般にダニは昆虫よりはるかに小さく、大多数のダニは0.1～2.0mmの大きさですが、ミツバチの気管に

寄生するホコリダニの一種は体長0.09mmです。

最も大きいダニはヒメダニ科のカズキダニの一種で吸血すると体長3cmもの大きさになるといわれています。英語では小さなダニを「mite」、大きいマダニ類のダニを「tick」と呼びます。

昆虫の形態は頭部、胸部、腹部と大きく3つに区分でき、クモは頭胸部(胴部と胸部が一体になったもの)と腹部の2つに区分できますが、ダニはこのような区分ができず一体となっています。また、脚は通常幼虫で3対6本、若虫と成虫が4対8本というのも大きな特徴です。

ダニの生活環

一般に 卵 — 幼虫 — 若虫 — 成虫 の発育ステージをとります。この発育や産卵に血液や体液が必要な種類は吸血行動をとります。このようなものにはマダニ、ツツガムシ、イエダニやトリサシダニなどがあります。その吸血の際に、様々な病原微生物を媒介し、感染症を引き起こしたり、唾液中の様々な物質によって局所の疼痛・炎症、あるいはまれにマヒ性毒素などによって弛緩性マヒが生じたり、宿主(人)に重大な影響を与えることがあります。

日本での分布

媒介するダニの種類によっては、その分布に偏りがあるといわれています。また、身近では野外だけでなくイヌ、ネコに付着したダニが家庭周辺に運ばれ生息する可能性があります。

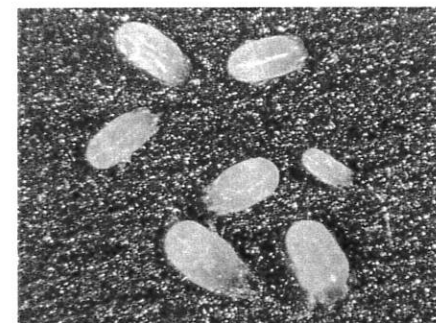
ダニは山野に多い、と思われている方も多いと思いますが、案外身近にいる可能性もあります。実際、イヌに寄生しているマダニの多くはヒトのマダニ咬傷の原

因となるダニであるともいわれています。

ダニによる病気

[1] ヒョウヒダニ類

ヤケヒョウヒダニ、コナヒョウヒダニがあります。この2種の発育に適した温室度は人が快適に生活する条件と一致し、家の中の寝具、ジュータン、ぬいぐるみなどで良く繁殖します。生きた虫体だけでなく、脱皮殻、死骸や糞でもアレルギーやぜんそくの原因となります。特に脱皮殻、死骸、糞は軽いため、容易く室内に飛散し、吸入性アレルギーとなります。予防には頻回の電気掃除機による掃除や空気清浄機が有効です。また、室内の換気なども効果的です。



ヤケヒョウヒダニ

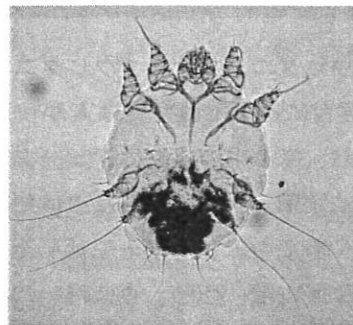
[2] ヒゼンダニ

いわゆる疥癬(かいせん)を起こすダニです。手や指の間や肘の内側などの皮下にトンネルを作って産卵し、皮疹や激しい痒みを生じます。

寄生するダニが爆発的に増えると、角化型疥癬と呼ばれる皮膚症状を示し、感染力も非常に強くなります。病院や老人介護施設・社会福祉施設などでの施設内感染としてよく知られています。

治療薬として硫黄剤、安息香酸ベンジル、クロタミトン、 γ -BHC、イベルメクチン製剤などがあります。

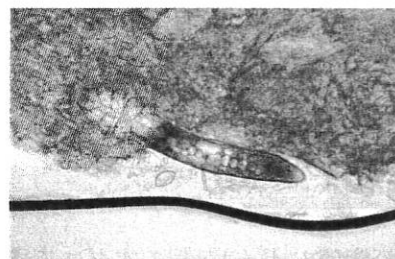
副腎皮質ホルモン外用剤は反って症状を悪化させますので使用してはいけません。角化型疥癬など症状の強い場合は、患者の使用した寝間着やシーツなどは熱湯などで熱処理を行い、部屋や壁、床など熱処理が不可能なものには殺虫剤を使用します。



ヒゼンダニ

[3] ニキビダニ

顔面の毛穴(毛嚢)などに潜在し、毛包虫とも言います。常在性は高く成人の大半に見られます。寄生数が多くなると毛包炎を起こす場合もあるといわれていますが、健康人からも多く検出されるので、病原性の有無は不明です。

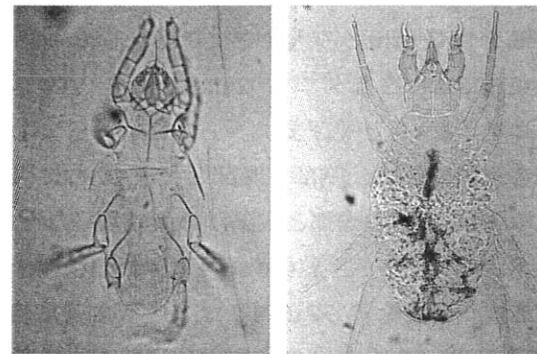


ニキビダニ

[5] シラミダニとツメダニ

この2種は人を刺し皮膚炎を起こすが吸血することはありませんが、両種とも生息数が多くなった時、偶発的に人を刺します。皮膚炎はダニの唾液タンパクにより生じるアレルギー反応です。対処法としては、まずこれらのダニの生息数を減少させることです。皮膚

炎の治療は一般的な虫刺されに準じます。



シラミダニ

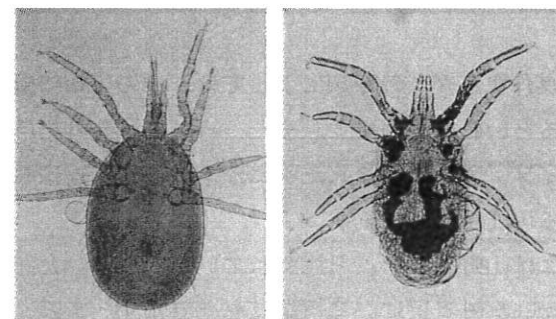
ツメダニ

[6] トゲダニ類

イエダニ、スズメサシダニ、トリサシダニ、ワクモが含まれます。

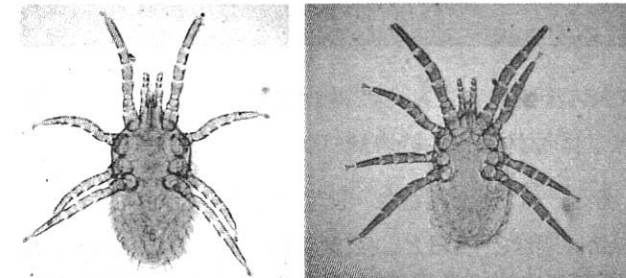
イエダニはネズミ類に寄生しています。また、スズメサシダニ、トリサシダニ、ワクモは鳥類に寄生します。ネズミや鳥の巣でダニが大繁殖すると多数のダニが室内に侵入します。また、ネズミの移動後や鳥の巣立ち後に放置された巣から一過性に室内にダニの侵入が起き被害が生じます。吸血されると皮疹と激しい痒みが生じます。

防除法にはダニの種類を正確に同定し、イエダニであれば、ネズミの巣を、スズメサシダニ、トリサシダニ、ワクモであれば鳥の巣を除去します。同時に室内のダニを殺虫剤などで駆除します。皮膚炎の治療は一般的な虫刺されに準じます。



イエダニ

スズメサシダニ



トリサシダニ

ワクモ

[7] ツツガムシ類

幼虫時のみ動物に寄生しツツガムシ皮膚炎やツツガムシ病を引き起こすことがあります。

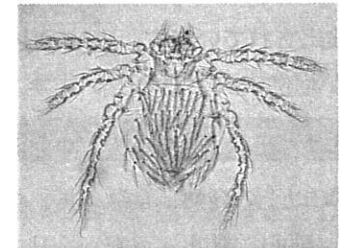
病原体のリケッチアを保有しかつ媒介する一人二役の媒介動物です。病原体リケッチアは親から子へと経卵巣感染で受け継がれ、菌をもたないダニ(無毒ダニ)が感染動物に吸着しても菌を獲得できず、有毒ダニになりません。

ツツガムシ病はOrientia tsutsugamushi を起因菌とするリケッチア症であり、患者は、汚染地域の草むらなどで、有毒ダニの幼虫に吸着され感染します。発生はダニの幼虫の活動時期と密接に関係するため、季節により消長がみられます。また、かつては山形県、秋田県、新潟県などで夏季に河川敷で感染する風土病であったが(古典型)、戦後新型ツツガムシ病の出現により北海道、沖縄など一部の地域を除いて全国で発生がみられるようになりました。近年、大曲花火大会でツツガムシ咬傷事例が報告されています。古典的ツツガムシ病はアカツツガムシが、新型ツツガムシ病はフトゲツツガムシとタテツツガムシが媒介します。発熱、刺し口、発疹は主要3徴候とよばれ、およそ90%以上の患者にみられます。

治療は、できるだけ早く本症を疑い、有効な抗菌薬(テトラサイクリン系の抗菌薬、クロラムフェニコール)を投与することが極めて重要で、治療が遅れた場合死に至ることがあります。

予防にはダニの吸着を防ぐことが最も重要で、汚染地域に立ち入らないこと、立ち入る場合はダニの吸着を

防ぐような服装をしたり、防ダニ剤を使用します。また、作業後は身体と衣類に着いたダニを洗い流します。



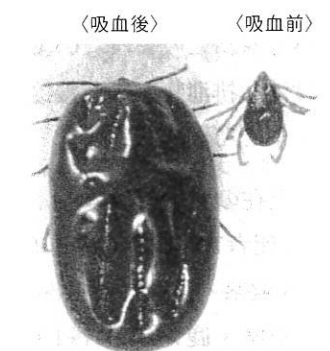
フトゲツツガムシ

[8] マダニ類

大型のダニのため人の目に付きやすく、古来よりダニといえばマダニのことを指していました。

すべての脊椎動物の外部寄生虫です。幼虫、若虫、成虫すべてのステージで吸血を行い、ダニの中で最も疾病を媒介する可能性の高いグループです。

幼虫、若虫、成虫それぞれの過程で吸血する宿主を変えるものを3宿主性、宿主を2回変えるものを2宿主性、1種類の宿主のみに寄生するものを1宿主性と呼びます。



クリイロコイタマダニ

(1). 重症熱性血小板減少症候群(SETS)

ダニ媒介性の新しい出血熱感染症です。病原体はSFTSウイルス(ブニヤウイルス科フレボウイルス属に属する)です。2009年3月~7月にかけて中国中部で原因不明の疾患が集団発生し、2011年に原因ウイルスとしてSFTSウイルスが確定されました。

日本では2013年1月に初めてSFTS症例が確認されました。また、2009年米国 ミズーリ州でも同様の症状を示す患者から、SFTSウイルスと近縁のHeartlandウイルスが検出されています。症状の中で、特に以下の下線部分が症例定義とされています。致死率は10～30%です。

症状：38℃以上の発熱、食欲不振、倦怠感、胃腸症状（腹痛、悪心、嘔吐、下痢）、リンパ節腫脹、出血症状、潜伏期間は6日～2週間。

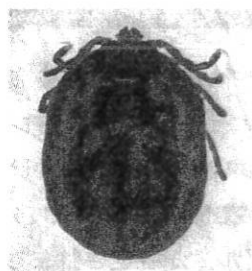
検査所見：血小板減少（10万/mm³未満）、白血球減少、血清電解質異常（低Na血症、低Ca血症）、血清酵素異常（AST、ALT、LDH、CK上昇）、尿検査異常（タンパク尿、血尿）

感染経路：フタトゲチマダニ等のマダニによる咬傷、感染患者の血液・体液との接触感染も報告されています。

治療法：特異的な治療法はなく、対症療法が主体となります。有効な抗ウイルス薬はありません。

予防法：野外でダニに咬まれないようにする。感染者の血液、体液、排泄物との直接接触を避ける。ワクチンはありません。

2013年4月10日現在の発生者数は11名（男性7名、女性4名）、うち死者7名です。都道府県別発生者数では、愛媛県・佐賀県・長崎県-各2名、広島県・山口県・高知県・宮崎県・鹿児島県-各1名となっています。年齢別発生者数をみると、50代-2名、60代-3名、70代-2名、80代-3名、未公表-1名です。



フタトゲチマダニ

(2). 日本紅斑熱

1984年徳島県で初めて確認されたダニ媒介性疾患です。病原体は日本紅斑熱リケッチアです。

症状：頭痛、発熱、倦怠感を伴って発症します。潜伏期は2～8日と、ツツガムシ病の10～14日に比べやや短く、また、ツツガムシ病と同様に発熱、発疹、および刺し口が主要三徴候であり、ほとんどの症例にみられます。

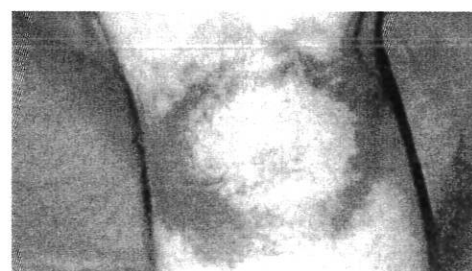
ツツガムシ病との臨床的な鑑別は困難ですが、ツツガムシ病では発疹が主に体幹部にみられるのに対し、本症では体幹部より四肢末端部に比較的強く出現すること、またツツガムシ病に比べ、刺し口の中心の痂皮部分が小さいなどの特徴があります。

検査所見：ツツガムシ病と同様にCRPの上昇、肝酵素（AST、ALT）の上昇、白血球減少および血小板減少などがみられます。

感染経路：ヤマトマダニ、キチマダニ、フタトゲチマダニなどのマダニによる刺咬により感染します。

治療：ツツガムシ病と同様、本症を早期に疑い適切な抗菌薬（テトラサイクリン系、ニューキノロン系薬）投与することが極めて重要で、治療が遅れた場合死に至る場合があります。

予防：ダニの吸着を防ぐような服装をしたり、防ダニ剤を使用する、また、作業後は身体と衣類に着いたダニを洗い流します。



(3). ライム病

ライム病ボレリアという細菌による感染症です。1975年、アメリカのコネチカット州ライム地方で子供たちの関節炎が流行し、その原因として発見されました。

感染初期（stage I）は刺咬部を中心に出現する遊走性紅斑(写真参照)を呈することが多く、筋肉痛、関節痛、頭痛、発熱、悪寒、全身倦怠感などのインフルエンザ様症状を伴うこともあります。紅斑の出現期間は数日から数週間といわれ、形状は環状紅斑又は均一性紅斑がほとんどです。

播種期（stage II）には、体内循環を介して病原体が全身性に拡散します。

これに伴い、皮膚症状、神経症状、心疾患、眼症状、関節炎、筋肉炎など多彩な症状が見られます。感染から数か月ないし数年を経て、慢性期（stage III）に移行します。患者は播種期の症状に加えて、重度の皮膚症状、関節炎などを示すといわれます。本邦では、慢性期に移行したとみられる症例は現在のところ報告されていません。

日本では長野県や北海道で患者が見られることが多く、ノネズミ、リス、シカなど保菌動物がダニを持っており、スピロヘータの一種であるボレリア(病原性スピロヘータ)がシュルツェマダニによって媒介され

ます。治療薬としてはドキシサイクリン、テトラサイクリンが、髄膜炎などの神経症状にはセフトリアキソンが有効です。

(4). 野兎病

野ウサギやげっ歯類の間で維持されている野兎病菌という細菌による急性熱性疾患で、感染経路は動物との接触、飲料水による、マダニやアブなどの節足動物による媒介など多様です。マダニ類としてはシュルツェマダニ、ヤマトマダニ、キチマダニから菌の分離報告があります。高熱と共に侵入部では潰瘍が生じ、局所のリンパ節に出血性炎症を起こしたり、菌血症を起してチフス様症状を呈します。東北地方全域と関東地方の一部が本邦での多発地です。1999年の千葉県での1例以降は報告されませんでした。2008年に青森県、福島県、千葉県で合計5例の感染が報告されました。近年バイオテロにかかわる病原体として扱われています。



(5).その他にアナプラズマ症、ネズミヘパシア症、ダニ脳炎などがあり、マダニによる媒介と考えられています。

謝辞:当研究所 吉田永祥研究員には数多くの貴重な写真提供とコメントを頂きました。ここに深謝いたします。

参考文献

- 1.高田伸弘.病原ダニ類図譜.216pp.金芳堂.1990
- 2.高田伸弘.医ダニ類の形態と病害. モダンメディア.57.6.2011
- 3.田中生男、緒方一喜、栗原 毅、篠永 哲、新庄五朗.住環境の害虫獣対策.454pp.日本環境衛生センター.2001
- 4.厚生労働省ホームページ.重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について
- 5.国立感染症研究所.IDWR感染症の話
- 6.ライム病写真(W.E.Dmund et al: Infectious Diseases, text and color atlas, 2nd Edit. Gower Medical Publishing, NY より)

第27期第3回通常総会開催

平成25年度事業計画及び収支予算を承認

去る3月12日(火)午後2時より、東京都港区のメルパルク東京に於いて、第27期第3回通常総会が開催された。審議では「役員(監事)の選任に関する件」が第1号議案となり、新監事に桜美林大学教授の藤倉まなみ氏が選任された。第2号議案「平成25年度事業計画書(案)の承認に関する件」、第3号議案「平成25年度収支予算書(案)の承認に関する件」などの審議が行われ、いずれも全会一致を以って可決承認された。総会終了後には懇親パーティーが挙行された。

厚生労働省健康局
依田生活衛生課長代理・
堀川課長補佐による挨拶



博士。昭和160年環境庁へ入省後、厚生省、国土交通省などを経て現在、桜美林大学リベラルアーツ学群教授。

平成25年度事業計画書(案)の承認に関する件 マットに関する ダスト保持性能評価制度をスタート

平成25年度は懸案だったマットに関するダスト保持性能についての評価制度をスタートする運びとなったのをはじめ、環境に配慮した充電電池のリサイクルが本年6月より一部の会員会社でスタートする。また、今年で3年目を迎えるダスコン業務従



事者に対する研修制度「ダストコントロール業務従事者指導監督者講習会」については、25年度は札幌・東京・大阪・広島での実施を予定。支部単位で行う事業としては、社会貢献および会員の協調性を図るために、ゴミゼロ事業の実施を始め、交通安全講習会や講演会、とりわけ環境(eco)に関する講演会については、実施に当たって、講師の派遣料や費用の一部を協会本部が負担するなど各地域支部の活性化を目標に、様々な事業活動が計画されている。

第3号議案 平成25年度収支予算書(案)の承認に関する件

平成25年度の収支予算書(案)について、配布資料をもとに審議し、全会一致で承認した。予算の概要は別掲の通り。

多数の来賓を迎え、懇親パーティー挙行

総会終了後には、恒例となった懇親パーティーが挙行された。パーティーには厚生労働省の担当官を始め、総会出席者並びに賛助会員、など来賓多数が集い、会場は終始和やかな雰囲気に包まれた。



開会の挨拶をする
星野副理事長



賛助会員並びに来賓の皆さん



小野木副理事長による
乾杯の音頭



平田常務理事の
挨拶で中締め

平成25年6月1日～平成26年5月31日 平成25年度収支予算 【単位：円】

勘定項目	予算額	勘定項目	予算額
I. 事業活動収支の部 事業活動収入		II. 投資活動収支の部 投資活動収入	
事業収入	5,637,000	特定資産取崩収入	5,732,000
特定資産運用収入	7,000	投資活動収入 計	5,732,000
入金金収入	30,000	投資活動支出	
会費収入	57,280,000	特定資産取得支出	735,000
雑収入	3,000	投資活動支出 計	735,000
事業活動収入合計	62,917,000	投資活動収支差額	4,997,000
事業活動支出		III. 予備費支出	500,000
人件費支出等	7,436,500	当期収支差額	△4,322,000
研究開発事業費支出	2,200,000	前期繰越収支差額	12,566,000
広報事業費支出	4,358,000	次期繰越収支差額	8,244,000
地域活動事業費支出	13,552,000		
教育研究事業費支出等	8,658,500		
事業費支出 計	36,205,000		
管理費支出	35,531,000		
管理費支出 計	35,531,000		
事業活動支出合計	71,736,000		
事業活動収支差額	△8,819,000		

第27期第3回理事会開催

役員(監事)の選任に関する案件をはじめ、平成25年度の事業計画書(案)や収支予算書(案)などの審議内容等の最終調整が行われた。



理事長表彰者2名決まる

理事長表彰者の候補2名について審議が行われ、全会一致で承認された。受賞者は支部長推薦として高橋猛氏(株)ファミリーリースキン)、業界推薦として宮脇実氏(株)サニクリーン甲信越)の2名。いずれもダスコン協会の発展、また協会活動において多年にわたって尽力されたことが表彰の大きな理由となった。

支部長推薦 高橋 猛



東海地域支部会
株式会社ファミリーリースキン
代表取締役

15年にわたり東海地域支部会役員として協会活動に積極的に取組み、支部発展に多大な貢献があった。現在も東海地域支部会役員として活躍中。

業界推薦 宮脇 実



甲信越地域支部会
株式会社サニクリーン甲信越
代表取締役専務

22年にわたりダストコントロール業界の普及、発展に尽力した。また、甲信越地域支部会副支部長、事務局長として、平成18年より5年間協会発展のため尽力した。

全国支部長等合同会議の最終確認

通常総会に先立ち開催される全国支部長等合同会議の内容やスケジュールについて最終調整が行われた。

総務委員及び技術委員を選任

株式会社白洋舎より総務委員並びに技術委員を、株式会社エルゼより総務委員を、夫々交替したい旨申し出があり、議場はこれを了承した。また新法人移行後については、新たに理事となる株式会社クリーンマットより総務委員の選出の申し出があり、議場はこれを了承した。総務委員並びに技術委員の新メンバーについては以下の通り。なお、総務委員として宮本弘明氏(白洋舎)、寺光禎治氏(エルゼ)、技術委員として伊藤芳友氏(白洋舎)は、平成25年3月12日から就任。また横町嘉博氏(クリーン・マット)は新法人移行後就任する。

【総務委員】

●株式会社白洋舎宮川義信氏から宮本弘明氏(クリーンサービス事業本部課長)へ

●株式会社エルゼ工藤仁裕氏から寺光禎治氏(HOD事業部 事業部取締役)へ

●株式会社クリーン・マツト横町嘉博氏(執行役員総務人事部長)

【技術委員】

●株式会社白洋舎石塚裕二氏から伊藤芳友氏(洗濯科学研究所 主任研究員)へ

2号正会員4社、
賛助会員3社の入会を承認

新たに2号正会員4社、賛助会員3社より入会の申請があり、議場はこれを了承した。賛助会員について
●ワイエイシイ株式会社(東京都昭島市)
●三浦工業株式会社(愛媛県松山市)
●株式会社オーノ(大阪府堺市)
の3社となっている。

新法人への移行後の 各種規程などを審議

今回審議されたのは、一般社団法人ダストコントロール協会の概要をはじめ、新法人における地域ブロック会における事務処理について、各種規程の制定について、地域ブロック会の設立準備委員名簿、本部役員、総務委員地区別担当表など、新法人へ移行後の具体的な内容が主となり、議場はこれを異議なく了承した。

平成25年度通常総会の開催及び
全国地域ブロック会長・都道府県支部長会議
7月4日(木)～5日(金)
長野県軽井沢プリンスホテルで開催

平成25年度通常総会の開催日時並びにスケジュール等について確認が行われ、7月4日に軽井沢プリンスホテルにおいて開催されることとなった。当日は13時30分より全国地域ブロック会長・都道府県支部長会議を行った後、16時15分より通常総会、その後親睦会が挙行される予定。翌5日は自由参加によるゴルフを行うことになっている。

ダストコントロール製品の性能検査 事業の実施について

マット等ダスコン製品がどのような機能上の特徴を持っているのかを消費者に向けてわかりやすく明示することにより、安全、安心を提供することを目的に、ダスコン協会が一括して試験を実施して評価を行う性能検査事業の実施を検討してきたが、平成25年度から順次、準備が整

った項目より実施することとしている。
マットの性能試験は、ダスコン協会のオーダーメイド試験として専門機関へ委託して試験を実施し、その結果を元に協会が認定書を発行し、依頼者へ回答する。試験依頼者はこの認定書を元に、性能評価の項目と星評価を商品に表示することができるというシステムになっている。

【出席者】

- 山村輝治理事長(ダスキン・代表取締役社長)
- 星野至宏副理事長(サニクリーン・代表取締役副社長)
- 小野木孝二副理事長(トーカイ・代表取締役社長)
- 丸山晴男常務理事(年金福祉信用保証・取締役)
- 平田寛一常務理事(エルゼ・代表取締役社長)
- 宮島賢一常務理事(ダスキン・専務取締役)
- 臼井忠彦常務理事(トーカイ・常務取締役)
- 福原章理事(クリーンテックス・ジャパン・代表取締役会長)
- 櫻井正昭理事(元 自然公園財団・専務理事)
- 松下和夫理事(京都大学大学院地球環境学・教授)
- 高橋一夫専務理事(日本ダストコントロール協会)
- 木田聡監事(グラヴィタス・代表社員・公認会計士)

【委任状出席者】

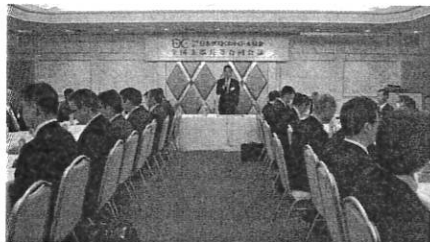
- 越智隆常務理事(白洋舎・執行役員 クリーンサービス事業部長)
 - 田中智之理事(堺市衛生研究所・所長)
 - 堀雅宏理事(横浜国立大学・特任教授)
 - 成毛義光理事(日本エンドレス・代表取締役社長)
- オブザーバー
- 武田浩総務委員長(ダスキン・取締役クリーン・ケア西日本地域担当)
 - 家田隆茂技術委員長(サニクリーン・商品サポート本部品質技術部 部長)
- 【会議開催状況】
総務委員会／2月6日・3月11日・4月10日
技術委員会／2月15日
性能検査検討小委員会／3月22日・4月10日

新法人へ移行後の地域ブロック会 における事務処理や各種規程などを確認 全国支部長等合同会議開催

合同会議で挨拶する
山村理事長



会の組織および役割分担表が示されたのを始め、新法人における地域ブロック会等における事務処理の具体案、助成金交付金の積算明細、各種規程の制定、地域ブロック会設立準備委員会名簿及び都道府県支部会設立準備委員会名簿、本部役員・総務委員の地区別担当表など新組織へ移行後の組織の具体案が提示された。その後意見交換が行われたが、各地域支部とも新法人への移行後の体制については、ほぼ承認の方向で確認した。



第27期第3回常務理事会開催

去る5月8日(水)午前11時より、第27期第3回常務理事会が大阪市のホテルラフォーレ新大阪において開催された。

平成25年度通常総会上程議案及び 全国地域ブロック会会長・都道府県 支部長会議の討議内容を審議

本会議では、来る7月4日に長野県・軽井沢において開催が予定されている、平成25年度第一回理事会及び通常総会上程議案についての審議が中心となった。

議案は、新法人へ移行後の定款改正に関する件、第27期(平24年度)事業報告書(案)の承認に関する件、第27期(平成24年度)収支計算書(案)の承認に関する件などが主となり、議

場は全会一致でこれを了承した。

通常総会と同日に「全国地域ブロック会会長・都道府県支部長会議」を併せて開催し、新法人における地方組織および事業の活性化策や代議員選出のための選挙規程の運用についてなどの討議内容や当日の進行などが確認された。

ダスコン製品の性能検査事業について

前回の理事会の意見を踏まえ、引き続き性能評価検査の具体案を詰めることで了承された。



【出席者】

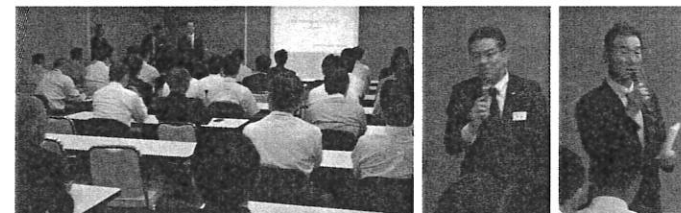
- 山村輝治理事長(ダスキン・代表取締役社長)
 - 星野至宏副理事長(サニクリーン・代表取締役副社長)
 - 小野木孝二副理事長(トーカイ・代表取締役社長)
 - 丸山晴男常務理事(年金福祉信用保証・取締役)
 - 平田寛一常務理事(エルゼ・代表取締役社長)
 - 越智隆常務理事(白洋舎・執行役員 クリーンサービス事業部長)
 - 宮島賢一常務理事(ダスキン・専務取締役)
 - 臼井忠彦常務理事(トーカイ・常務取締役)
 - 高橋一夫専務理事(日本ダストコントロール協会)
- オブザーバー
- 武田浩総務委員長(ダスキン・取締役クリーン・ケア西日本地域担当)
 - 家田隆茂技術委員長(サニクリーン・商品サポート本部品質技術部 部長)

平成23年度 地域支部会事業報告及び事業活動報告

平成23年度は、定例のゴミゼロ事業が全国一斉に各地域支部でおこなわれ、平成3年のスタート以来22回目を迎え参加者数は23,229名と過去最高を記録しました。また、交通安全講習会、講演会、勉強会なども活発に地域支部独自の実施方法で開催されました。

北海道

○支部総会 第1回 平成23年6月28日(於札幌市札幌全日空ホテル)
第2回 平成23年11月29日(於札幌市ジャスマックプラザホテル)○ゴミゼロ事業 各地区毎に実施○優良運転者表彰○交通安全講習会 札幌市(ブルーウェーブインホテル札幌)にて開催



東北

○支部総会 第1回 平成23年6月23日(於福島市ホテル大亀)第2回 平成24年1月16日(於仙台市ホテルメトロポリタン仙台)○理事長表彰○ゴミゼロ事業 各地区にて実施○東日本大震災被災2号会員17社へお見舞金交付○ソーラーマルチチャージャー(防災に使えるもの)を配布



東海

○支部総会 第1回 平成23年6月21日(於名古屋市名古屋通信会館)第2回 平成23年12月1日(於犬山市名鉄犬山ホテル)○ゴミゼロ事業 愛知地区鶴舞公園、岐阜地区長良川左岸、三重地区阿漕浦公園にて地区毎に実施○交通安全ツール配布



北関東

○支部総会 第1回 平成23年6月24日(於さいたま市パレスホテル大宮)第2回 平成24年3月9日(於宇都宮市ホテルサンシャイン)○ゴミゼロ事業 地域事業所拠点毎にて実施○交通安全講習会 支部総会当日、「交通教育センターレインボー埼玉」インストラクター(本田技研工業)による「企業ドライバーの為の参加型安全運転研修」を開催○優良運転者表彰○カレンダーの配布



東 関 東

○支部総会 第1回 平成23年6月21日(於神栖市 鹿島セントラルホテル) 第2回 平成23年12月2日(於千葉市 アパホテル 東京ベイ幕張) ○ゴミゼロ事業 千葉地区、茨城地区にて(23年9月、24年5月)2回実施 ○研修会 平成23年9月1日～2日(ひたちなか市 安全運転中央研究所)にて自動車安全運転研修(特殊業務運転者課程普通車)を開催



甲 信 越

○支部総会 第1回 平成23年6月7日(於長野市 ホテルメトロポリタン 長野) 第2回 平成24年3月1日(於松本市 ホテルブエナビタス) ○ゴミゼロ事業 各地区毎に実施 ○交通安全講習会 新潟地区1か所、長野地区3か所、山梨地区1か所にて開催 ○マナー研修会 新潟地区、長野地区にて開催



北 陸

○支部総会 第1回 平成23年6月20日(於あわら市 まつや千千) 第2回 平成23年12月1日(於金沢市 松魚亭) ○ゴミゼロ事業 石川地区(金沢市 西泉駅周辺)、富山地区(富山市 富山駅周辺)、福井地区(福井駅周辺)にて実施 ○優良運転者表彰



東 京

○支部総会 第1回 平成23年6月10日(於新宿区 新宿文化センター) 第2回 平成23年12月5日(於新宿区 新宿文化センター) ○理事長表彰 ○ゴミゼロ事業 墨田区 JR 錦糸公園から四つ目通り1.6キロ路上ゴミ拾い(24年3月)、事業所周辺(24年5月)にて2回実施 ○優良運転者表彰



神 奈 川

○支部総会 第1回 平成23年6月22日(於横浜市 商) 第2回 平成23年12月14日(於横浜市 商) ○ゴミゼロ事業 神奈川全地域集合 横浜駅東口エリアにて実施 ○環境講習会 ゴミゼロ事業と同日平成24年5月26日 堀理事(横浜国立大学 特任教授)による講演「環境放射能とその影響について」を横浜 クルーズクルーズにて開催 ○ノベルティーの配布



近 畿

○支部総会 第1回 平成23年6月9日(於大阪市 ニューオーサカホテル) 第2回 平成23年11月14日(於大阪市 新梅田研修センター) ○ゴミゼロ事業 各メーカー・各地区毎に実施 ○講演会 支部総会当日、平尾誠二氏(神戸製鋼ラグビー)による、講演会を開催 ○理事長表彰



中 国

○支部総会 第1回 平成23年6月24日(於岡山市 岡山後楽園ホテル) ○支部総会 第1回 平成23年11月14日(於広島市 ホテルセンチュリー 21 広島) ○ゴミゼロ事業 各事業所周辺にて実施 ○優良運転者表彰 ○協会 PR 活動 DC 協会の認知を上げるため、クリアファイルを作成、2号会員へ配布



九 州

○支部総会 第1回 平成23年6月21日(於博多市 セントラーザホテル博多) 第2回 平成23年10月25日(於鹿児島市 城山観光ホテル) ○ゴミゼロ事業 各地区毎に実施 ○交通安全講習会 佐賀地区にて開催 ○献血運動 平成23年6月25日 福岡地区 イオンモール筑紫野、平成24年2月25日 佐賀地区 ハイパーセンターオサダ時津店にて実施



四 国

○支部総会 第1回 平成23年6月6日(於高松市 リーガホテル ゼスト高松) 第2回 平成23年11月17日(於高松市 三翠園) ○ゴミゼロ事業 香川地区 高松市・丸亀市、愛媛県 松山駅、高知地区 高知中央公園、徳島地区 阿波おどり会館周辺にて実施 ○DC 協会のPR活動タオルを作成

会 員
便 り

有限会社ヒロタ 増田 早苗

コツコツ育てる
『ひとづから』

弊社は四日市コンビナート群の南部地域にあり、リースキンをはじめ、酒、飲食品、清掃など様々な分野で地域企業のみなさまにご愛顧いただいております。私の父は、株式会社トーカイのリースキン事業開始当初より代理店に加盟し、40年以上事業を続けております。私は物心ついたころからマットやモップに囲まれて、レンタルのついでに幼稚園のお迎えに来てもらうという環境に育ちました。そして、私自身が事業に携わったのはおよそ15年前。残念ながら、当時すでにバブルが崩壊し、不況の一途をたどる時代で、正直「儲けた!」という快感を味わえないまま現在に至っています。そんな厳しい時代にも、弊社のような零細企業

が生き残ってこれたのは、なんといっても『人力〜ひとづから』の賜物です。まず弊社の誇る第一の『ひとづから』は『スタッフの力』です。現在社長以外はみんな女性。それも、子育て真っ最中の主婦たち7人で日々奮闘しております。たとえば学校行事や子供の突然の病気など、取り巻く状況が同じなので、やりくりが大変なところもありますが、その分、協力し合って楽しく仕事をしております。「女性ならではの真心がこもったきめ細やかなサービス」を常に心がけ、お客様のもとに元気に明るくかがい、徐々につながりを深めてきました。その中で培われてきたのが第二の『ひとづから』、『お客様の力』です。地元ならではの小回りが利く特性と、なんとかお役にたてるようにと努力する姿勢を認めてくださり、「大手・廉価」の流れの中でも変わらずご愛顧いただき、また、困りごとや要望もお話しいただけるので、大変ありがたく感じております。第三の『ひとづから』は『個人の力』スキルア

ップです。先日、名古屋で行われた「ダストコントロール業務従事者指導監督講習会」に参加させていただき、ダスコン製品の基礎知識から公衆衛生、環境、運転業務、訪問販売業務の講義を受けました。この講習会は厚生労働省が後援しているもので、企業の「コンプライアンス」が重要視される昨今、その客観的指標ともなりうるこのような機会が設けられることは、価格だけではない差別化の要素をお客様に明示でき、私どもにとって大変意義のあることです。今後も、たとえば代理店ごと、スタッフごとのスキルが計れる協会共通の資格制度などをご検討いただき、努力したものが正当な評価を得られる環境が構築されることを期待いたします。自分自身が様々な知識、経験をもって成長し、そして、スタッフを、十分な知識を持った「専門家」に育ててゆくこと。これが今後、第一、第二の『ひとづから』をより一層強くしてゆく『要の力』となってゆくことと考えます。

平成25年度

通常総会通知

並びに

総会代議員告示広告

(1) 一般社団法人

日本ダストコントロール協会

平成25年度通常総会を

次により開催するので通知する。

1：日 時

平成25年7月4日(木)

16時00分

2：場 所

長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢

軽井沢プリンスホテル

(会議場 浅間)

3：目 的

一般社団法人日本ダストコントロール協会

平成25年度通常総会に関する件

4：審議事項

第1号議案

：新法人の定款改正等に関する件

第2号議案

：第27期(平成24年度)

事業報告書(案)の承認に関する件

第3号議案

：第27期(平成24年度)

収支計算書(案)の承認に関する件

(2) 一般社団法人

日本ダストコントロール協会

平成25年度通常総会の

代議員候補者

自分の属する単位の代議員候補者に異議のある第2号正会

員は、5月28日までに事務局

長あてにその旨の意思表示

を書面を持って行わたい。

(必着のこと)

※左から県支部会名、氏名、社名、代議範囲、会員数をあらわします。[会員数合計2,009名]

北海道	大久保 浩	(株)ダスキン北海道地域本部	ダスキン	77
	井元 誉明	北海リースキン(株)	トーカイ	52
	池田 浩	(株)サニクリーン北海道	サニクリーン・白洋舎	12
青森県	柿本 聡	(株)ダスキンカキモト	青森県全域	15
岩手県	佐藤 寧	(株)サニクリーン東北	岩手県全域	31
宮城県	鈴木 良夫	(株)日本オイル商会	宮城県全域	47
秋田県	小松 彰	ダスキン北秋	秋田県全域	29
山形県	半田 秀樹	東北リースキン(株)	山形県全域	34
福島県	山内 政人	(株)同仁社	福島県全域	27
栃木県	大野 泰範	(株)ダスキン北関東地域本部	栃木県全域	46
群馬県	山本 等	(株)セシオ	群馬県全域	53
埼玉県	大崎 隆雄	(株)ダスキン北関東地域本部	ダスキン	45
	市ノ渡 光子	ダスキニューコスモ	ダスキン・トーカイ・サニクリーン・エルゼ	55
茨城県	大久保 裕行	(株)ダスキン北関東地域本部	茨城県全域	48
千葉県	高須 秀悦	(株)サニクリーン東京	ダスキン・トーカイ・サニクリーン	78
	若林 督憲	(株)白洋舎	白洋舎	3
東京都	加賀 敦	(株)ダスキン東京地域本部	ダスキン	71
	山本 岳史	(有)ダスキンやま	ダスキン	70
	岡納 悟朗	(株)サニクリーン東京	サニクリーン・トーカイ・エルゼ・エンドレス	17
神奈川県	岡本 千穂	(株)ダスキン南関東地域本部	ダスキン・エンドレス	53
	小雀 勝美	(株)サニクリーン東京	トーカイ・サニクリーン	34
新潟県	丸山 譲	(株)サニクリーン甲信越	新潟県全域	72
山梨県	渡辺 一也	(株)山梨リース	山梨県全域	21
長野県	井上 尚紀	(株)ダスキン北関東地域本部長野エリア	ダスキン	46
	上嶋 徳久	十字屋リース(株)	トーカイ・サニクリーン・エルゼ	35
岐阜県	北洞 雅丈	(株)トーカイ	岐阜県全域	32
静岡県	梶谷 尚央	(株)ダスキン 東海・北陸地域本部	静岡県全域	6
愛知県	奥村 文明	(株)サニクリーン名古屋	サニクリーン	10
	楠 芳高	光田屋(株)	ダスキン・トーカイ	69
三重県	横内 康晴	(株)ダスキン 東海・北陸地域本部	三重県全域	25
富山県	山本 啓一	(株)サニクリーン北陸	富山県全域	29
石川県	河崎 裕之	日本海リース(株)	石川県全域	28
福井県	吉田 隆	ダスキン小浜	福井県全域	20
滋賀県	櫻井 寛	(株)ダスキン近畿地域本部	滋賀県全域	6
京都府	本田 達也	(株)ダスキン近畿地域本部	京都府全域	44
大阪府	山田 昇	(株)サニクリーン近畿	トーカイ・サニクリーン・エルゼ・白洋舎・ダイキチ	54
	藤岡 利義	(株)ダスキン近畿地域本部	ダスキン	50
兵庫県	溝口 誠	(株)トーカイ 大阪支店	兵庫県全域	57
奈良県	市川 隆信	前川(株)	奈良県全域	21
和歌山県	小杉 光	(株)ダスキン 東海・北陸地域本部	和歌山県全域	18
鳥取県	水野 治郎	水野商事(株)	鳥取県全域	12
島根県	森澤 佳典	(株)ダスキン 中国・四国地域本部	島根県全域	27
岡山県	国生 義和	日本リースキン(株)	岡山県全域	42
広島県	中元 雅之	(株)サニクリーン広島	広島県全域	61
山口県	福木屋 浩	(株)サニクリーン広島	山口県全域	40
徳島県	谷川 廣宣	(株)ダスキン 中国・四国地域本部	徳島県全域	8
香川県	藤澤 利勝	日本リースキン(株)	香川県全域	20
愛媛県	由本 新	(株)サニクリーン四国	愛媛県全域	17
高知県	小原 宏	(株)ケミサプライ高知	高知県全域	6
福岡県	藤村 敏夫	(株)サニクリーン九州	ダスキン・サニクリーン・クリーンマット	46
	安永 真昭	(株)エルゼ 北九州営業所	ダスキン・トーカイ・エルゼ	46
佐賀県	小野 繁雄	(株)ダスキン九州地域本部 佐賀エリア	佐賀県全域	15
長崎県	横町 嘉博	(株)クリーン・マット	長崎県全域	28
熊本県	浅尾 恵介	(株)ダスキン九州地域本部 熊本エリア	熊本県全域	32
大分県	平野 和夫	(株)大分リースキン	大分県全域	21
宮崎県	梅田 栄治	(株)サニクリーン九州 宮崎営業所	宮崎県全域	16
鹿児島県	妻島 智広	(株)ダスキン九州地域本部 鹿児島エリア	鹿児島県全域	19
沖縄県	富名腰 政彦	(株)サニクリーン九州 沖縄営業所	沖縄県全域	13

※紙面の都合により、一部地域で地域本部名及び事業所名を省略させていただきました。